

1-2 殿下御頭像

ハンス・ヨルク・リンパック 昭和31年(1956)
ブロンズ 35.8×32.2×38.2

三木辰夫(1904～87)はイギリスでエッチングを学び、昭和16年に殿下が総裁を務められた国際文化振興会の推薦により、日本代表作家の一人として仏領インドシナ連邦で作品展示を行った。ご肖像画は、同24年12月に写生、31年6月に完成したと作者本人が裏面に書き記している。大胆にデフォルメがほどこされた御頭像は、スイス出身の新進の彫刻家であったハンス・ヨルク・リンパック(1928～90)が制作し、在日スイス人有志より献上されたものである。

1-1 殿下御肖像

三木辰夫 昭和31年(1956) 紙、インク、水彩 本紙24.8×19.5

- ・各展覧会図録中、作品名や作者、制作年などの表記は、図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し、本ファイルを改変、再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は、書籍と同様に出典を明記してください。また、図版を出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は、宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお、図版を営利目的の販売品や広告、また個人的な目的等で使用することはできません。

若梅に撫子——旧高松宮家と伝來の品々

三の丸尚蔵館展覧会図録 No. 62

編集

宮内庁三の丸尚蔵館

制作

株式会社 東京美術

翻訳

横溝廣子

発行

宮内庁

平成二十五年三月一十六日発行

© 2013, The Museum of the Imperial Collections